

チェーンシストセット

再使用禁止

【警告】

<使用方法>

・カテーテル挿入時に異常な抵抗を感じたときは、無理に挿入操作を行わないこと。[尿道粘膜を損傷する恐れがある。]

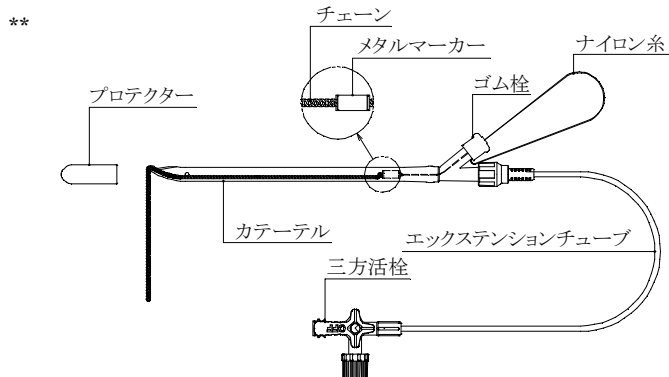
【禁忌・禁止】

・再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

本品は、ナイロン糸付チェーンを内蔵したカテーテルとそれと接続する三方活栓付エクステンションチューブよりなり、膀胱及び尿道の造影に使用する。

<構造図(代表図)>



・本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル））を使用している。

【使用目的、効能又は効果】

本品は、女性の尿道に造影剤や金属製の鎖（チェーン）を注入・挿入するために用いる。

【品目仕様等】

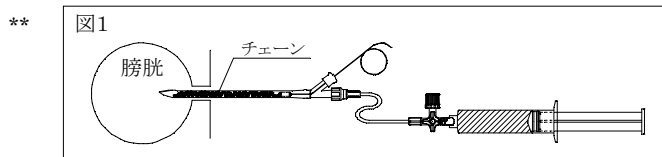
* 接合部強度
19.6N(2kgf)で引張ったとき抜けない。

【操作方法又は使用方法等】

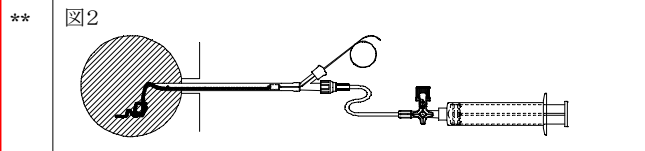
本品は、手技に精通した医師の管理下で使用する。

本品は滅菌品であるのでそのまま直ちに使用できる。

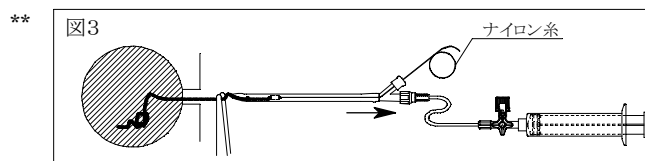
- 1) プロテクターをはずし、汚染に充分注意してカテーテルに潤滑剤を塗布する。
- 2) チェーンを収めた状態でカテーテルを外尿道口より、膀胱内に挿入する(図 1)。



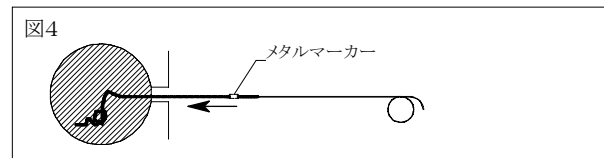
- 3) 造影剤をシリンジで注入することにより、チェーンを膀胱内に射出する(図 2)。



- 4) 造影剤を最大尿意まで注入した後、カテーテルを外尿道口まで引く。
- 5) 外尿道口部でチェーンを把握したままナイロン糸をカテーテルから引き抜くと、チェーンは膀胱尿道に留置される(図 3)。



- 6) メタルマーカを外尿道口まで移動させる。メタルマーカは外尿道口の位置確認を目的とする(図 4)。



- 7) 鎖膀胱造影を行う。
- 8) チェーンは排尿とともに排出されるので、引き続き排尿時撮影を行える。

<使用方法に関連する使用上の注意>

- ・尿失禁患者の鎖膀胱造影用として使用すること。
- ・使用前にチェーンが絡まっていないか確認すること。絡まっている場合はチェーンを解し、カテーテル内に収納し直してから使用すること。[チェーンを射出できない恐れがある。]
- ・カテーテル挿入時に異常な抵抗を感じたときは、無理に挿入操作を行わず、カテーテルを抜去して挿入できなかった原因を確認すること。[尿道粘膜を損傷する恐れがある。]
- ・チェーンは排尿とともに排出されるが、引き抜く場合はゆっくりと操作すること。[尿道粘膜を損傷する恐れがある。]
- **・チェーンが尿道内に完全に入り込まないように注意すること。[チェーンが排出されない恐れがある。]

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ・医薬品の添付文書を確認後、使用すること。
- ・脂溶性の医薬品ではポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ（2-エチルヘキシル）が溶出する恐れがあるので、注意すること。
- ・包装が既に破損、汚損している場合や、製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないこと。
- ・使用直前に開封して使用すること。

<その他の注意>

- ・使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。
- ・本品はエチレンオキサイドガス滅菌済み。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

<貯蔵・保管方法>

- ・水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

<有効期間・使用の期限>

- ・箱に記載している使用期限を参照のこと。（自己認証による）

【包 装】

5 セット／1 箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

<製造販売業者>

株式会社八光

長野県千曲市大字磯部 1490

TEL 026-275-0121

<製造業者>

株式会社八光

販売窓口：東京都文京区本郷三丁目 42-6

TEL 03-5804-8500